

第3分科会 特別支援学校

「地域とともに学ぶ総合防災訓練  
・防災研修会の取組」

発 表 者 宮城県立支援学校女川高等学園 校長 浅水 啓一郎

学校所在地	児童生徒数	学校運営協議会			地域学校協働活動 推進員数
		設置年度	委員数	年間開催回数	
宮城県牡鹿郡女川町	53名	平成29年度	13名	総会2回分科会適宜	0名

## 学校教育目標

一人一人の人格と個性を尊重しながら、生徒の特性に応じた適切な職業教育を行い、自己の持つ能力や可能性を伸ばし、社会的・職業的に自立できる心身ともに健康で、誰からも愛される生徒を育成する。

## 学校・地域の特徴

2011年に起きた東日本大震災の被災中心地に、5年後の2016年、設立した支援学校です。令和6年度は軽度知的障害のある53名の生徒が障害者雇用枠を活用して一般就労することを目指しています。甚大な災害を経験した地域なので、地域復興のシンボルとなるよう、防災について役立つ人材を育成するうえで、学校運営協議会が活用されています。



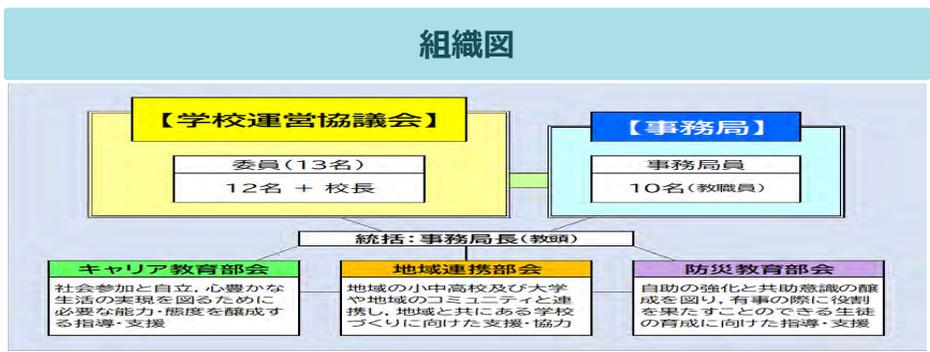
## 学校運営協議会の概要

### 委員の構成

学識経験者（大学）、社会福祉法人施設長、町民生委員、町商工会会長、ハローワーク所長、地域防災士、行政（町役場企画課長）、PTA会長、町行政区長会会長、旧職員（元校長）女川原発地域総合事務所（専門職）、校長

### これまでの主な議題例

- ・キャリア部会  
「現場実習と就労について」
- ・防災部会  
「総合防災訓練を含む防災の取組等について」
- ・地域連携部会  
「行政区や小中学校との地域連携について」



## 地域学校協働活動の特徴的な取組や工夫など

本校では、地域の方々他に、初代校長や学校設立時の関係者の方にも委員を務めていただいております。そのため、時間軸としての縦軸と、地域的な広がりとしての横軸の交わる組織として学校運営協議会を位置づけています。活動の特徴的な取組としては、社会参加と自立を目指すキャリア教育部会に現場実習について、自助の強化と共助の醸成を図る防災部会に総合防災訓練について、それぞれご協力いただいております。他方、本校のロケーションが女川原発近隣ということもあり、原子力施設関連で精通している方にも、委員になっていただいております。





# ①学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の概要

地域の“元々のつながり”を生かす



校務の負担を減らせる可能性

# ①学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の概要

## キャリア教育部会



現場実習先の確保

# ③本校の概要と防災教育のスタート

東日本大震災  
2011, 3, 11

復興が進む女川町

本校 開校  
2016, 4, 1

震災から5年21日後

開校当初は…

「新設校の防災教育に関わってほしい」  
「一緒に取り組んでももらえませんか」

…と言い出しにくい雰囲気



### ③本校の概要と防災教育のスタート



# ③本校の概要と防災教育のスタート

## 「努力目標」における“防災”に関する項目の変遷

### 2016年度【開校】

地域の防災計画等との整合性を図りながら、生徒及び保護者にとって安全・安心な教育環境を整える

### 2019年度

地域とともに学ぶ防災教育の充実に努め、生徒・保護者にとって安全・安心な教育環境を整える

### 2020年度

地域とともに学ぶ防災教育の充実、生徒・保護者・地域にとって安全・安心な生活環境の確保

### 2022年度～【現行】

地域とともに学ぶ防災教育の充実

### ③本校の概要と防災教育のスタート

防災教育もゼロからのスタート

本校らしい取組の“基礎固め”

⇒「こんな取組をしています」と言えるようにしたい

大切にしたい“観点”

- ⇒ 支援学校で学ぶ生徒が主体となる
- ⇒ より体験的で誰にとっても教育的効果の高い防災教育
- ⇒ 支援学校である女川高等学園を理解してもらう



# ④これまでの実践

24時間の生活サイクルに着目

## 普段の暮らし・役割



## 防災の役割



寄宿舍の自治会を設置

# ④これまでの実践

自治会＝“自主防災組織”へ

総務班

環境整備班

安全点検班

救護班

給食給水班

広報班



県内各市区町村の町内会  
【自主防災組織】



# ④これまでの実践

自治会 = “自主防災組織” へ

暮らしをより良くするための  
“自治活動”

- ・生活課題の検討
- ・行事の運営 ほか



班長会議



年中行事の企画  
[総務班ほか]

暮らしの安全を守るための  
“自主防災活動”

- ・定期的な防災点検
- ・訓練の企画
- ・広報活動 ほか



安全点検  
[安全点検班]



食堂の掃除  
[給食給水班]



避難経路の清掃  
[環境整備班]



救急箱の点検  
[救護班]



取材の打合せ  
[広報班]

# ⑤昨年度の防災への取組

防災部会

災害を知らない高校生が感じたこと



災害を知る大人が伝えたいこと

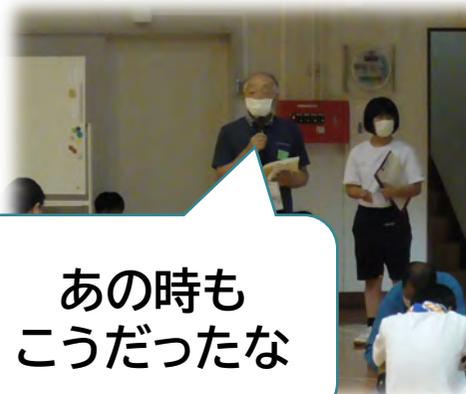
原子力災害伝承館見学

# ⑤昨年度の防災への取組

防災部会



今後も一緒にやっていきたい



あの時も  
こうだったな

**世代間交流から  
生涯教育へ**

物資が届くから大丈夫



こんな時は、こうするといいよ



総合防災訓練



# ⑥ 今後への思い

女川町の“今”...



住民の高台移転の完了

各種インフラの整備

津波浸水被害想定の見直し

女川原子力発電所2号機の再稼働



学校と地域の皆様が互いに防災  
の社会資源としてつながる

# 共生社会

# WELL-BEING

生徒を知ってもらうことで…



特別支援学校  
への理解



日常の防犯・  
防災への期待



世代間交流か  
ら生涯教育へ

地域との交流の輪